

わが修二校



平成28年度 第4号

平成28年9月1日
京都市立修学院第二小学校
校長 川口 正二

9月のことば

今月は「当たり前の事を一生懸命やるのがカッコいい！」としました。

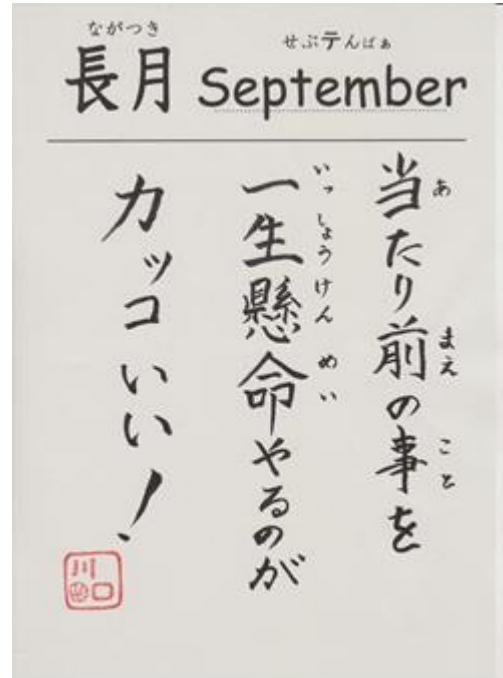
7・8月は「力を蓄える時」でした。その蓄えた力を、更にたくましくして、日々の学習はもちろんのこと、これから行われる運動会や学習発表会などの行事で発揮してほしいと思っています。そこで、そのような行事に向かっていく時に必要な姿勢が、この「当たり前の事を一生懸命やる」ことです。

特に上級生ぐらいになってくると、当たり前にやるべきことをやらずに、ちょっと人と違うことをしたくなったり、ちょっと人と違う格好をしてみたくなったりします。「カッコよさ」を勘違いするのですね。そして何か、みんなと一緒に一つのことをやるのを“カッコ悪い”と思ってしまいがちです。でも、本当にカッコいい人、一流の人というのは何も人と違った格好などしていません。当たり前のことをやらずに特別なことをして一流になるのでもありません。当たり前にするべきこと（“凡事”と言ってもいいでしょう）を、きちんと、人一倍努力して一流になっているのです。修二校の子ども達には、「当たり前のことが「当たり前」にできる、そんな人になっていってほしいと思っています。

修二校の子どもたち、まとまって来ています。

さて、今修二校の児童たちはまとまって来ていると感じています。4月早々の全校集会の時は、何かザワザワして、子どもたちの眼があちこちに動いていました。それが、夏休みに入る前の7月の朝会、休み明けの再開日の朝会では、誰もが話す人に眼と体を向け、自分から話を聴こうという姿勢がしっかりとできてきました。たてわり活動や町別集会など児童の学年間交流が増え、上級生は6年生の修学旅行、5年生の長期宿泊学習などを経てリーダーとしての自覚が生まれてきた、このような成果も大きな要因だと思います。今後、運動会など行事の成功に向けて、全校児童がよりまとまって、一人一人が自分のるべきことをしっかり自覚し、今月のことばに示したように、「当たり前にやるべき事」を「一生懸命」にやって、素晴らしい活動が繰り広げられることと期待しています。

保護者、地域の皆様、どうぞ修二校の子ども達を励ましてあげてやってください。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



ドリームバンド：金賞

修二陸上クラブ：男子総合第1位

8月7日（日）に行われた京都府吹奏楽コンクールで、本校部活動のドリームバンドが金賞を受賞しました。活動開始からめきめきと力をつけ、2年ぶりの金賞受賞となりました。部員たちは本当によくがんばりました。そして今度は秋の様々な行事やマーチングフェスティバルに向けて、8月21日から23日まで2泊3日で花背山の家で合宿を行いました。地域やOB、OGの皆様、保護者の皆様を始め多くの方々に大変お世話になりました。ありがとうございました。

もう一つの部活動である茶道サークルは、7月30日（土）に行われた修二ふれあい夏まつりにおいて、浴衣姿でお点前を披露してくれました。来賓の皆様も大変喜んでいらっしゃいました。

また、本校で練習している修二陸上クラブが7月23日（土）に西京極陸上競技場で行われた京都小学生クラブ対抗大会において、男子総合で第1位を獲得しました。おめでとうございます。

いずれも朝会で全校児童に紹介しました。修二校の誇りにしてほしいと思います。

先生たちもがんばりました。

夏休みは先生たちも力を蓄える時です、と前号で書きました。市の研究会等主催の算数科研修、生徒指導研修、道徳研修に全校体制で参加し、学校独自の研修として生徒指導、1月の研究発表に向けての授業研修、人権教育、アレルギー対応など多くの研修を行いました。8月18日には修学院中学校区5校（八瀬小、上高野小、修学院小、本校、修中）合同の研修も行いました。今後の教育実践に活かしていきたいと考えています。

また、プールの日よけの錆びた鉄骨のペンキ塗り、運動場のコースロープ打ち、給食室の細部に渡る清掃など、児童の安全を守り、授業・行事の円滑化を図るために教職員全体で作業を行いました。

